

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2014-15483(P2014-15483A)

【公開日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-005

【出願番号】特願2013-219880(P2013-219880)

【国際特許分類】

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

C 0 7 C 215/44 (2006.01)

C 0 7 B 53/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 487/04 1 4 0

C 0 7 C 215/44 C S P

C 0 7 B 53/00 G

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 31/519

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月22日(2014.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 $R^u N^- - S(O)_2 X^+$ の化合物であって、式中、

X は、トリエチレンジアミン、ジアザビスクロ[5.4.0]ウンデク-7-エン(DBU)、1,5-ジアザビスクロ[4.3.0]ノン-5-エン、スパルテイン、1-アザビスクロ[2.2.2]オクタン、N,N'-ジメチルピペラジン、およびN-エチルモルホリンからなる群から選択される第三級アミンであり、

R^u は、 $-C(O)OC(R^v)_2(R^w)$ または $-C(O)N(Ph)_2$ であり、

R^v は各々独立に、 $C_{1 \sim 10}$ 脂肪族、アリールまたは水素から選択され、

R^w は、 $C_{1 \sim 10}$ 脂肪族、またはアリールであり、あるいは、

1 個の R^v は、 $C_{1 \sim 10}$ 脂肪族であり、もう 1 個の R^v は、 R^w と一緒になって、 $C_{3 \sim 6}$ 脂環式環を形成している、

化合物。

【請求項 2】

X は、トリエチレンジアミン、1-アザビスクロ[2.2.2]オクタン、N,N'-ジメチルピペラジン、およびN-エチルモルホリンからなる群から選択される、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

X は、トリエチレンジアミンである、請求項 1 または 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

R^w は、メチルまたはフェニルである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 5】

R^v は各々独立に、メチル、エチル、ブチル、ヘキシル、オクチルまたはフェニルであるか、あるいは、 R^v は各々独立に、水素、メチルまたはエチルである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 6】

R^u は、 $-C(O)OCMe_3$ 、 $-C(O)OCH_2Ph$ 、 $-C(O)N(Ph)_2$ 、 $-C(O)OC(Me)_2Ph$ 、 $-C(O)OCH(Me)Ph$ 、 $-C(O)OC(Me)_2Et$ 、 $-C(O)OC(Et)_2Ph$ 、 $-C(O)OC(オクチル)_2Ph$ 、

【化 12】



、 および

からなる群から選択される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 7】

R^u は、 $-C(O)OCMe_3$ である、請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 8】

R^u は、 $-C(O)OC(R^v)_2(R^w)$ であり、1 個の R^v は、 C_{1-10} 脂肪族であり、もう 1 個の R^v は、 R^w と一緒になってシクロプロピルまたはシクロヘキシルを形成している、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 9】

X は、トリエチレンジアミンであり、 R^u は、 $-C(O)OCMe_3$ である、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の式 $R^u N^- - S(O)_2 X^+$ の化合物と、X のヒドロクロリド塩とを含む錯体。

【請求項 11】

前記錯体において、式 $R^u N^- - S(O)_2 X^+$ の化合物の、X のヒドロクロリド塩に対する比は、1 未満であるか、該錯体において、式 $R^u N^- - S(O)_2 X^+$ の化合物の、X のヒドロクロリド塩に対する比は、約 1 であるか、または、該錯体において、式 $R^u N^- - S(O)_2 X^+$ の化合物の、X のヒドロクロリド塩に対する比は、1 を上回る、請求項 10 に記載の錯体。

【請求項 12】

R^u が $-C(O)OC(R^v)_2(R^w)$ である式 $R^u N^- - S(O)_2 X^+$ の化合物を形成するためのプロセスであって、下記ステップ：

I - E) $(R^w)(R^v)_2C-OH$ をクロロスルホニルイソシアナートで処理するステップ；

II - E) ステップ I - E) で形成した反応混合物を X で処理するステップ；および

III - E) スルファモイル化試薬 $R^u N^- - S(O)_2 X^+$ を単離するステップ；を含み、

式中、 R^v 、 R^w および X は、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の要素を持つ、プロセス。